

一生に一度のアニバーサリー記念のジュエリー・オフィスに届いたステキなメールを御紹介します！

☆永遠の記念☆

結婚式には既成のマリッジリングではなく、記念になるオーダーにしようと思っていて KAOLVCO さんにお願ひしました。デザインが出来たというお知らせにドキドキしながら行ってみると、描いていただいた 3 枚のデザイン画が！ 全部ステキでしたが直感でアリ（羽）に決めました。

それから出来上がるまで、1ヶ月あまり。わくわくして何うと、可愛い羽根の形のリングが……！ 特に彼女のほうは、ダイヤが沢山付いていて、予想以上の豪華さでした。婚約指輪とピッタリ重なり、大喜び。お値段も良心的に思ってもらって感激です。結婚式には、プロフィールビデオに指輪の写真、エンドロールに 2 人と KAOLVCO さんの写真を使います。ウエディングドレス姿の花嫁さんがマリッジリングをつけた姿を早くみたいです。永遠の記念になりますね。

金澤均（作業療法士）&麻衣（看護師）



☆心の宝物☆

実は僕達の結婚のきっかけは KAOLVCO だったのです。知り合ったばかりのころ、モニカの優しさに惹かれていた僕は、思い切ってクリスマスに KAOLVCO のブルートパーズのリングをプレゼントしたんです。KAOLVCO にその時、「これで決めるからね！」と言ったのを覚えていますか？

あれから 3 年。ついに僕達は、ゴールインすることになりました。結婚指輪はもちろん、KAOLVCO にオーダーしました。

綺麗に出来上がった指輪をつけた時、今までの想いが込み上げてきて感動しました。マリッジリングも、彼女の心を掴んだブルートパーズのリングも、僕達の心の宝物です。

マリオリノとモニカ
（イタリア在住）



☆義母の思い出☆

私のもう亡くなりましたお姑さんは、ロシア系のスイス人でした。彼女はとてもジュエリーを着けるのが上手で、何気ない服装からフォーマルな装いまで、的確なものを選び、さりげなく身に付けて目立っていました。彼女のエレガントさは、いまでも忘れられません。その中でも、知人の結婚式の時にパール 3 連のドックネックにヘッドを付けていたのですが、それがなんとフォーマルな服装と似合って本当に素晴らしかったのです。いつか私もあいうのが似合うようになりたいと思っていました。

そんな時、KAOLVCO の個展でピッタリのものに巡り合ったのです。トルコ石のアーチ型のペンダントヘッドに、3 連のパールネックレスを、1 本ずつ首のサイズに合わせて作ってもらいました。3 連をそのまま着けても良し、ブローチをセンターに付けて一層華やかにして着けるも良し……。とても重宝しています。

ドックネックは、ダイアナ王妃もよく着けていらしたことでわかるように、女性を美しく輝かせるキーポイントですね。着けると背筋が伸びて、優雅になったような気がします。

康子・サビーニ（イタリア在住）



長谷喜久一氏 “個展 2009” 開催

11 月 27 日～12 月 4 日に、伝統ある名古屋画廊にて長谷喜久一氏の個展が開催されました。画伯は 2007 年にはイタリア国ピテルボ県祭旗を献納しています。尽きることのないインスピレーションで力強くみずみずしい感性で描かれた沖繩をテーマとした作品をはじめ、数々の作品が展示されました。開催中は多くの方が訪れ、大盛況にて幕を閉じました。

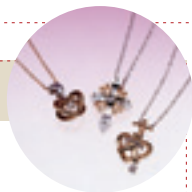


「琴 coto」ブログ 更新中

アジアのたおやかな優しい感性と精密なもの作りを世界に送り出そうと、水野薫子がプロデュースした東洋の若手デザイナーのユニットによるおなじみの新ブランド「琴 coto」。作品は素材にローズゴールド、ダイヤを使用したハートやクロスや花など可愛いモチーフながら、一味違うアジアスピリットをエッセンスとして加えたジュエリーで、お値段も 5～10 万円と親しみやすいものになっています。又、今年は台湾進出を果たしました！

「琴 coto」の公式ホームページもあり、楽しいブログも随時更新中です！
皆様、ぜひご覧下さい。

「琴 coto」公式ホームページ
<http://jewelry-coto.com/>



スタッフ紹介



前列左から 村松ゆかり、
水野薫子、
黄 懷玉
後列 裴 順連、高岡啓子、
坂元勝彦、中江朋子、
大森さゆり



年頭にかけて、私の母校であるアテナ宝石デザイン研究所を引き継ぐことになりました。業界に多くの優秀なデザイナーを卒業させてきた由緒と実績ある学校だけに、大変な重責を背負ってしまったというプレッシャーもありますが、若くて夢いっぱいの学生の応援が出来るという、大きな喜びも感じています。この不況ですから、精一杯業界の活性化のためにも頑張りますので、どうぞご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

またジュエリーデザイナーとしてのお仕事も、今まで通り頑張ります！
スタッフともども、重ねてよろしくお願いいたします！

水野薫子&スタッフ一同

KAOLVCO

KAOLVCO&ESPRESSO

Buon Natale e
Felice Anno Nuovo



MILANO Photo by kyoji Nagatani

2009 Winter～2010Spring
お元気でいらっしゃいますか

Vol. 32

MILAN TOKYO



<http://www.kaoluco.com/>

台湾に「FESTARIA」がオープンし、KAOLVCOのコーナーが設置されました

2009年9月18日に、ROYAL HOTEL TAIPEIのボールルームで、FESTARIAのレセプションが開催され華やかな雰囲気でおオープンを祝いました。レセプションでは、司会の女性が今回のオープンの為に制作されたジュエリーを紹介し、プロモーションビデオも発表され、KAOLVCOのショーが披露されました。

ショーはイタリアで開催し好評を博したのと同じ構成で、日本から同行した松宮りえとパレリーナまどかがオリエンタルな雰囲気をかもし出し、台湾のお客様にアピール。22社のマスコミと台湾のVIPおよそ60人から喝采を浴びました。会場にはシャンパンやオードブル、日本から準備した「茶会」も催され、水野薫子も同行したモデルもスタッフも写真撮影や対応に大忙しの日となりました。



また20日のオープンでは台湾の風習にのっとり、成功を願ってのお祈りと花火が焚かれ11時の開店と同時に、店内は沢山のお客様で活気に溢れました。来客数は一日で100人を超える大盛況。閉店時間を越す22時過ぎまで絶えることなくお客様がお越しになり、台湾旗艦店オープンは大成功のうちに初日を終えました。

お店は、そごうの目の前の角地。日本で言えば銀座のど真ん中と言う絶好の立地。皆様も、台湾にお越しの折は、FestariaのKAOLVCOコーナーにお越しください。

<http://www.kaoluco.com/>

重要なお知らせ

平成22年1月1日より水野薫子が伝統ある「アテナ宝石デザイン研究所」の代表に就任することになりましたのでお知らせいたします。

同校は1981年の発足以来、美とオリジナリティを基本概念に、数多くの優秀なデザイナーを世に送り出してきた30年近くの実績のある学校です。特にコンテストに関しては、受賞者の過半数近くをアテナの生徒および卒業生が受賞するケースも少なくなく、卒業生はフリーランス、会社経営、自己ブランド保有、有名会社におけるデザイナー、プロデューサーなど多岐に渡りジュエリー業界で活躍中の人々が多いことでも知られています。

前代表である藤村民夫氏は、バウハウス方式でデザイン画を描く技術を長年伝授してきましたが、新講師に任命された山本氏はコンピューターによるデザイン画の描き方など、独自に開発した方式を使用し、より多くの方に勉強できる新制アテナ方式を目指しています。また新たにワックスコースも開設され製作にも力を入れるようになり、今後はよりいっそう明日を担う人材育成にも力を注ぐ予定です。

興味のある方は、体験入学にご参加下さい！

ちなみに水野薫子も講師の山本氏も藤村氏の門下生(第4期生)で同級生です。

ホームページ www.athena-design.co.jp/

連絡先 03-3208-0545(水、木、金)
jewelryathena@yahoo.co.jp

アテナ宝石デザイン研究所

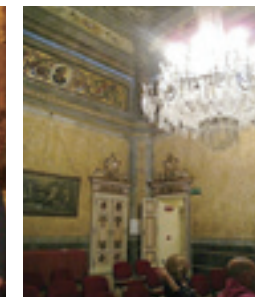
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場2-14-2 1001号
◎ジュエリーデザインコース
◎ジュエリーCGコース
◎Waxコース ◎通信講座
◎サンデーセミナー

●なお水野薫子のジュエリーデザイナーとしての活動は今までの通りです。

彫刻家 長谷京治氏 ミラノで文化芸術賞 彫刻部門受賞

今回で21回となるこの文化芸術賞は、著名なジャーナリストイドロモンタネリの名の基に1988年に創立された賞。

ミラノの中心部の歴史的館セルベッリーニ宮で授賞式が行われ、彫刻・デザイン・音楽・出版・文学など近年功績のあった23人に、歴史家・美術評論家である選考委員長のカルロフランツァ氏から受賞者ひとりひとりに盾と賞状が手渡された。



長谷京治氏は彫刻部門の受賞で日本人では唯一人。

音楽部門での受賞者オペラ歌手のオリヴェラメルクリオ氏がオペラマノンレスコウやボーエムの一節を披露するなど、フレスコ画で囲まれた華やかな部屋とともに華やかな雰囲気に包まれた授賞式だった。「頂いた賞に励まされた気持ちで一杯です。今まで応援して頂いた皆さんに感謝しながら今までにもまして創る仕事に精進したい。」と長谷京治氏は語っている。



きらめく、ノーブルな魂

ジュエリーとは不思議なものだ。華麗にきらめくその小さな物体のなかに、魔法の力を秘めているのかもしれない。

日本に住んでいた二十歳くらいの頃、将来自分がジュエリーを日々身につけるような女性になるとは正直いって心にも描いていなかった。それはおそらく、その頃の自分の中にあったジュエリーのイメージに“大人の女性が特別の機会にだけ身につける贅品”という観念があったからに違いない。

そんな私がイタリアのミラノへ移り住んでかれこれ24年。あの頃の観念はすっかりと覆された。その間、イタリア人女性の日常に、ジュエリーというものがどれだけ浸透しているのかを痛感させられる場面に何度となく出くわしたというのがその理由のひとつに挙げられる。そしてジュエリーを身につけるという行為を、彼女たちがいかに愛し、いかに楽しんでいるのかということに、小さなショックにも似た感銘を受けたこともあるだろう。それは、あるジュエリーに惚れ込んだら最後、高貴ともいえる彼女達の美に対しての想いから湧き立ってくる力だったように思う。そんなことに気づくまでに、私はある程度の時間を要した。

暮らしのなかの時々に応じて、身につける衣服、またはスカーフ、帽子、靴などを選ぶ。その組み合わせのセンスが、イタリア人女性たちのその日の気分を反映させているだけでなく、個性的内面の大事なアピールでもあるこの国では、いうまでもなく、締めくくりのジュエリーは絶対的な役割を果たしている。

鏡の前で、ネックレスを静かに身につけてみる時の、あるいはイヤリングをそっと耳もとに当ててみる時の女性特有の表情……というものがある。



ほんの一瞬の表情のひとつひとつに、彼女達は、他のどんな物を見る時の表情にも似えようのない、特別の至福に溺れていくかのような淡い美しさを見せる。そんな時「あっ、またジュエリーの魔法にかかっている」と私は思う事になっている。

イタリア人の夫が、水野薫子さんのデザインされたペンダント『フローラ』を贈ってくれたのは、結婚18周年記念の日のことだった。日本の美の象徴ともいえる桜の花が、帯のようなかたちのゴールドに小さく切り絵のようにカットされたペンダントは、ため息が出るほど繊細で素敵だった。夫も、華やかさの中にも清楚な魅力を秘めた彼女のジュエリーに惚れ込んで「デリケートだなあ、綺麗なデザインだなあ」と言っては、何度も眺めていた。そんな彼を見て私は、イタリア人というのはどんな分野につけ、美しいものに触れることに喜びを見出し、脳の中にどんどん新たな細胞を作り出しているのではないかと、考えるほどだった。それは女性が鏡の前でお気に入りのジュエリーをそっと身につけ、喜びを感じるによって、脳に程良い刺激を促すことにも似ているのだろう。

自分がいったいどんな顔をして鏡に向かってるのか知る由もないけれど、そんな時、何か見えない魔法の力が働いているという実感は確かにある。だから私も、水野薫子さんが創り出すジュエリーの不思議なパワーを拝借して、自分の個性をもそこに映し出すような真の意味での大人の女性になったら幸いだと思う。女性達の惚れ込んだ物質とその精神が一体となる時、一般には知覚・精神の宿らないものとされる物体、ジュエリーの中に、きらめく、ノーブルな魂が吹き込まれるに違いない。

宮本映子(エッセイスト・ミラノ在住)

コスモスペンダントが出来ました！

売土金の一部が難民を助ける会への寄付に当てられるコスモスピンがペンダントになりました。シルバー製でパール付き、ピンクゴールドメッキになっています。可愛くて胸元にもピッタリ！ギフトにも最適です。地雷などのない平和な世界を願って、コスモスの花をデザインしました。

パール付きシルバー製 4,500円です 引き続き皆様のご協力をお待ちしております。

